平成27年４月１日発行

FUREAINO MACHIZUKURI

滴翠会会報

2015 月刊　４月号　第292号

社会福祉法人 滴翠会

第三者委員会が開催されました

第三者委員会の開催

三月七日（土）、社会福祉法人滴翠会の苦情解決第三者委員会が、救護施設慈翠舘会議室にて開催されました。

この第三者委員会は、施設運営等に関して、利用者やご家族の皆様からのご意見やご相談、あるいは苦情等の適切な解決に向けて検討がなされる会議です。第三者委員の方に加わってもらうことで、より中立的で客観的な問題の解決を目指しています。

二名の第三者委員、滴翠会理事長、苦情解決責任者（施設長）、苦情受付担当が出席し、二十六年度に寄せられた案件について、その内容や施設の対応、結果等について報告がなされ、それについての様々な意見が交わされました。具体的な「苦情・相談の報告」は、各施設ページをご覧ください。

●養護老人ホーム
滴翠苑（てきすいえん）だより
かすみがうら市横堀四五一―五
TEL 〇二九九―五九―三六三一

総合健診の模様

総合健康診断

三月十九日、年一回の総合健康診断を全利用者、全職員が受診しました。検査内容は次の項目です。

検査項目		検査項目	
血圧	最高	血液一般	白血球
	最低		赤血球
肝・膵機能検査	AST(GOT)		ヘモグロビン
	ALT(GPT)		ヘマトクリット
	ガンマーGTP		血小板数
	ALT	糖	血糖
尿検査	尿蛋白		HbA1c(JDS)
	尿糖	腎・尿路	尿酸
	ウロビリノーゲン		クレアチニン
	尿潜血		【腎機能】
脂質代謝	総コレステロール		尿素窒素
	中性脂肪		
	HDLコレステロール		
	LDLコレステロール		

血糖検査、肝機能検査、脂質代謝検査を重点項目とし、特に血糖値は糖尿病の予防策の目安にし、おやつの提供の際にも参考にしています。

又、利用者一人一人に自分の検査結果を自覚してもらい、日頃の生活（リハビリ・運動・食生活）の目安にして、健康管理と健康維持に努めていきたいと思います。

苦情・相談の報告

相談内容	件数
①設備に関する内容	0件
②介護・処遇に関する内容	0件
③日常生活に関する内容	5件
④対人関係に関する内容	6件
⑤その他の事に関する内容	0件
合計	11件

③の内容は、「給湯器から直接マグカップにお湯をくむ人がいる」「トイレを使用後、水を流さない人がいる」「トイレでサンダルを履き替えない人がいる」等です。

座談会にて、利用者全員にやけどの危険性やトイレの使用について、感染予防対策や衛生の観点から、又、共同生活において守るべき注意点を説明し、お互い声かけし、注意をし合う事を促しています。

「アパートを借りて、一人暮しをしたい、部屋に他人がいるとやりたい事

地区子供会交流会

三月二十七日、利用者三十六名の方が参加し、地区子供会交流会が福祉センター「ふれあいの里」にて行われました。

到着後、少し休憩をとり、入浴しました。大きな湯船につかり、皆さんとても気持ち良かったと喜んでいました。入浴後は、子供達十六名とお母さんがお見えになり交流会が行われました。今年、小学校を卒業した二名の子に、プレゼントとエールを送り、子供達によるカラオケも行われ、利用者の皆さんもニコニコ顔でした。

昼食は子供達と一緒に頂き、子供達が帰った後、「佐藤真希歌謡ショー」が行われました。歌とアコーディオン演奏があり、利用者のリクエストにも答えてくれ、とても盛り上がりました。

久しぶりの外出に、利用者の皆さんは大変満足された様子でした。

子供会交流会

四月の行事

食べ歩き会	四月　二日
千寿会総会	四月　七日
桜まつり	四月　九日
滴翠会創立記念式典・ぼたんまつり	四月二十九日

が出来ない」という意見もあり、本人の話を良く聞き、妥協案として、一人部屋の居室替をしました。本人は現在満足しています。

④は「同居者がうるさく指図して、干渉してくる」等が五件を占め、同室者に対する普段の行動への不平・不満が増えてきています。対応としては、同室者お互いの話を良く聞き、お互いが居室替を希望している場合には、同室者となりたい希望の相手を聴き、居室替をしその後様子観察をしています。

「物がなくなった。○○さんに盗られた」の対応としては、職員立会いで一緒にタンスを整理し、訴えた本人のタンスの中から探していたものが発見され、本人は自分が置いていた事を認め、納得しました。

今後、ますます高齢化が進み、認知症の傾向から様々な苦情が出てくるものと思われます。病院受診も検討しながら、利用者の納得のいく方法で対応していきたいと思います。

●救護施設
慈翠舘だより
石岡市半の木一一一四六一
TEL〇二九九―二四―二八七一

桜の木の下で

お花見

四月七日にお花見会が行われました。当日は天気が悪く気温も低かったので、室内での花見になりました。窓の外を覗くと桜の花弁が散る様子があり、とても綺麗でした。お昼のお弁当は調理の方々が心を込めて作ってくれて、「いつもよりとてもおいしい」という利用者の声がたくさん聞こえてきました。ほとんどの方は残すことなく食べていましたが、やはり外で食べたかったとの声も多くありました。

午後のレクリエーションでは、すき焼きジャンケンゲームを行い、食堂でお花見団子を食べました。室内で行った事は残念でしたが、皆で楽しい時間を過ごせました。

防火管理委員会

利用者の皆さんが安全な生活を送れる様に、防火管理委員会を設置しています。

この季節になりますと、必然的に思い出されるのは、四年前に体験した東日本大震災です。創設以来利用者の安全な生活の確保には力を入れてまいりましたが、この日以降慈翠舘では、予期せぬ災害に対しどう対応出来るのか、現実的な訓練設備・備蓄管理について防火管理委員会を中心とし、日々取り組んでおります。

訓練一つを取っても、火災の想定・地震の想定・非常時の炊き出し訓練等より細かく実施し、どの様な状況でも対応出来る様にし、訓練の中で改善すべき点があった際には、すぐに今後どうすべきなのか対策をたてています。

これからも、利用者の皆さんの安全管理に努めてまいりたいと思います。

利用者との生活懇談会

苦情・相談の報告

相談内容	件数
①設備に関する内容	0件
②処遇に関する内容	4件
③日常生活に関する内容	0件
④対人関係に関する内容	0件
⑤その他の事に関する内容	0件
合計	4件

4件すべてが処遇に関する事柄でした。「職員の言い方がキツイ」「体調不良の訴えに返答が曖昧」という苦情には、医療機関や関係職員への連絡等、支援の経過を説明してご理解・納得頂きました。当該職員には誤解が生じないような対応を指導しました。

意見箱を活用しての苦情については、匿名な事と、中には具体的内容が記されず、再度皆さんに具体的に記録していただけるようお願いしました。また共通の苦情や要望については、毎月の生活懇談会でも受け付けています。

職員研修・会議

福祉サービス苦情解決研修会　三月三日
福祉施設等看護職員研修　三月三日
福祉施設等給食担当職員研修　三月六日
ファシリテーション研修　三月十日・十一日

四月の行事

お花見　四月七日
みどり会総会　四月九日
総合健康診断　四月十六日
滴翠会創立記念式典・ぼたんまつり　四月二十九日

●特別養護老人ホーム
明翠苑だより
石岡市半の木一一四八一一一
TEL〇二九九一二三一九六二〇

百歳のお誕生日を迎えて

細川様百歳の祝い

この度、明翠苑に入居されている細川ツルヨ様は、三月十日で百回目の誕生日を迎えられました。

ご本人には、内閣総理大臣・県知事・市長の表彰状と記念品が滴翠会理事長より授与されました。誠におめでとうございます。

当日、細川様のご家族も来苑され、明翠苑では理事長をはじめ、施設長・スタッフ・入居者の方々でお祝いをさせていただきました。また、万寿会からのプレゼント、入居者からは百歳のツルヨさんにちなんで「百羽ツル」も手渡され、そこには大家族のようなあたたかさやぬくもりが感じられました。

明翠苑で百歳のお誕生日を迎えられた方は二名になりました。これを機に他の入居者の方々も百歳を祝ってもらいたいと思ったのではないかと思います。

百歳を迎えて

百歳を迎えたことを兄弟みんなで喜び合いました。しかし、昨年は天国の入口迄で何度も行ったのですが、明翠苑を忘れられなくて戻ってくるのです。余程、居心地が良いのかと思います。現在は非常に元気になって居る様ですので一同安心しているところです。

先日、私と家内が訪問をした時に家内が母に「幸男さん（次男）が天皇陛下よりお免状を戴いたよ」と大きな声で言っていましたら、いつもの大きな声で「ハーイ」と言っていました。実際にはわかっているのかどうかは定かではありません。昨年の「秋の叙勲」で勲章を戴きました。でもお婆ちゃんも総理大臣からお免状を戴いたのだから一緒だねと言っておりました。

私達五人の兄弟は皆健康で一人も欠けておりません。これも母親から戴いたDNAかとつくづく感じているところです。

これからも明翠苑の方々には大変面倒をみていただく事に成ると思います。兄弟一同大変感謝いたしております。宜しくお願いします。

長男　幸佑

ガールスカウト交流会

ガールスカウト交流会

四月四日、お花見・ガールスカウト交流会を予定していましたが、悪天候のため残念ながらお花見は中止になり、華翠会舘ホールでガールスカウト交流会が行われました。華麗なダンスや歌が披露され、利用者の皆さんもリズムに合わせて体を動かしたり歌を歌ったりと楽しいひと時を過ごしました。

明翠苑とガールスカウトとの交流は開設二年目の昭和五十七年から始まり、三十年を超える歴史があります。少女たちとのふれあいが今後も続くことを楽しみにしています。

明翠苑ニュース

（3月分）

面　会　　89件　延117名来苑
ショートステイ　５名 延62日利用
ボランティア
　売　店　　１名　２日来苑
研　修
　給食担当職員研修　３月６日
　介護報酬改定説明会３月10日
　ファシリテーション研修
　　３月10・11日
　施設長管理者研修会３月12日
　認定調査員現任研修３月13日
　地域密着サービス管理者会議
　　３月17日

苦情・相談の報告

相談内容	件数
①設備に関する内容	０件
②介護・処遇に関する内容	１件
③日常生活に関する内容	０件
④対人関係に関する内容	０件
⑤その他の事に関する内容	１件
合　計	２件

平成二十六年度に明翠苑で苦情や相談として受け付けた内容は次の通りです。

②は、ご家族から「以前には無かった痣（あざ）がある。虐待ではないか」と指摘があったもので、ご本人が皮下出血や表皮剥離ができやすい状態であることをお伝えすると共に、介助の方法を見直しました。

⑤は、家族通信の文章の中に「原因不明」という表現があり、ご家族の不安を煽ってしまいました。ご本人の状況を詳細にお伝えしようとしたことが逆に心配をかける結果になってしまい、表現方法に注意するよう徹底しました。

今後も皆様の声を聴きながら期待に応えられるよう努めて参ります。

●デイサービスセンター

華翠会館だより

石岡市半の木一一四八〇
TEL〇二九九―二三―八二〇〇

お　花　見

デイサービス日誌　三月九日（月）

参加人数	11名（男３名　女８名）
送　　迎	往き 8:30　帰り 16:00
昼食のメニュー	御飯、鶏肉の香草パン粉焼き 切り出し大根煮、白菜のお浸し フルーツ（苺）
機能訓練	嚥下体操、リハビリ体操
レクリェーション	対戦ゲーム

今日のレクリエーションは、輪投げ・お手玉入れゲーム等を行い、２チームに分かれどちらが早く出来るか競い盛り上がりました。850対760と差はなく、最後はクジで引いた数がプラスされ、運で長谷川チームが勝ちました。どちらのチームも楽しんで行ってくれました。

デイサービス日誌　三月十一日（水）

参加人数	８名（男２名　女６名）
送　　迎	往き 8:30　帰り 16:00
昼食のメニュー	御飯、松風焼き、ツナ煮 なめこのおろし和え、フルーツ(もも缶)
機能訓練	嚥下体操、リハビリ体操
レクリェーション	クッキング、音楽

今日のクッキングはロールケーキを作りました。利用者２人が協力して生クリームを泡立てたりフルーツを切ったり、生地を焼き巻いてくれました。おやつで出ると、見ても良し、味も良しと好評で「おいしい」「甘さもちょうど良い」「毎日出たら毎日来るのに」との声でした。ごくろう様でした。

文芸コーナー　短歌

待ちかねし　春とは言えど　不陽気の
花はどこかに　足ぶみをせる

晴れ渡る　春の陽射しに　くっきりと
筑波山並み　空を支える

草の芽は　日毎に伸びて　青々と
花の便りも　すぐそこにあり

いやなこと　どこか遠くに　おき忘れ
笑い楽しく　生きましょう

センバツの　高校野球　はじまりぬ
母校の名誉　になう若きら

華翠会館利用者　小島せん

苦情・相談の報告

平成二十六年度に受け付けた苦情は二件でした。どちらも利用者、又は家族とのトラブルでした。言葉の難しさを痛感しました。利用者の立場になっての行動・言葉使いを考えて行動してゆきたいと思います。

相談内容	件数
①設備に関する内容	0件
②介護・処遇に関する内容	0件
③日常生活に関する内容	0件
④対人関係に関する内容	0件
⑤その他の事に関する内容	2件
合計	2件

明翠苑居宅介護支援センターだより

石岡市半の木一一四八一一一
TEL〇二九九―二三―九六三四

地域包括ケアシステム

団塊の世代が七十五歳以上になり高齢化のピークを迎える２０２５年以降、医療や介護の需要が更に増加する事が考えられるわけですが、現在でさえ入所できる施設の数は絶対的に不足しているのが現状です。だからといって施設を増やしすぎてしまうとピークを過ぎた後は供給過多になってしまいます。また、年をとっても自宅で暮らしたいと希望する人が多いこともあって、介護が必要になっても認知症になっても住み慣れた地域で自分らしい暮らしを最期まで続けることができるようにしようという「地域包括ケアシステム」の構築がすすめられています。

これは介護保険サービス、医療保険サービスだけでなく、見守りなどの生活支援や成年後見等の権利擁護、住居の保障、低所得者への支援など様々な支援を一体的に切れ目なく提供しようというもので、以下のような内容になっています。

①医療との連携強化
二十四時間対応の在宅医療、訪問看護、リハビリテーションの充実。介護職員による医療行為の実施。

②介護サービスの充実強化
特養などの整備、二十四時間対応の在宅サービスの創設

③予防の推進
できるだけ要介護状態にならない為の取り組み

④多様な生活支援サービスの確保や権利擁護など
独居や高齢世帯の増加や認知症の増加を踏まえた見守りや配食などの支援や財産管理などのサービス

⑤住まいの整備
社会資源の有効活用と低所得高齢者の住居の確保

「地域包括ケアシステム」は自分自身で働いて生活を支え健康管理を行う〝自助〟と、家族や親族、地域の人々などの助け合いである〝互助〟が基本となっていますが、低所得高齢者が急増し、都市部では核家族化により家族・親族による援助や地域でのつながりが希薄となり、地方では過疎化が進む中でこうしたシステムが成り立つのか、各部署との連携はどうやって取るのかなどまだ検討していかなければならないことは多いと思います。

ケアマネジャー　井川　由美子

苦情・相談の報告

平成二十六年度に明翠苑居宅介護支援センターで受け付けた苦情や相談はありませんでしたが、皆様には何かあれば遠慮なく申し出ていただきたいと思います。今後もよろしくお願いいたします。

滴翠会創立39周年記念式典
第22回ぼたんまつり

日　時　４月29日（水・祝）午前９時30分より

場　所　慈翠舘　明翠苑　華翠会舘
　　石岡市半ノ木

催　事　・記念式典
　　・アトラクション
　　・模擬店
　　・ぼたんの販売

養護老人ホーム　滴翠苑（創立39周年）
救護施設　慈翠舘（創立37周年）
特別養護老人ホーム　明翠苑（創立34周年）
デイサービスセンター　華翠会舘（創立26周年）

今月のことば３

願わくば花の下にて春死なん　その如月の望月のころ　西行

もし願いがかなうなら如月（旧暦二月）の満月の夜に満開の桜の花のもとで死にたいものだ。

西行は、平安時代末期から鎌倉時代初期に生きた人。本名佐藤義清といい京都御所に務める北面の武士であったが、僧侶となり歌人になった人。日本人と桜について語るとき欠かせない一首。

ご利用をお待ちしています

養護老人ホーム　滴翠苑
救護施設　慈翠舘
特別養護老人ホーム　明翠苑
特別養護老人ホームユニット型　明翠苑
デイサービスセンター　華翠会舘
明翠苑居宅介護支援センター

職員募集中　詳しくはホームページ又は施設へご連絡下さい

医療法人高木医院

TEKISUIKAI

社会福祉法人　滴翠会　http://tekisuikai.or.jp/